



消防大学校だより

危機管理・国民保護コースにおける 教育訓練

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対する研修課程として、その業務に必要な法制度や施策の知識の習得及び危機対応の能力の向上を目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

令和8年度の危機管理・国民保護コース（第16回）では、学生36名が、消防大学校での8日間（4月20日～27日）の全寮制の集合教育を終え、全員が無事に修了しましたが、その構成は消防職員の他、一般行政職、警察、県危機管理部局への出向者、元自衛官と当校の研修コースの中で最もバラエティに富むものでした。

研修は、内閣官房、総務省自治行政局、消防庁の担当者、危機管理の専門家を講師として招き、危機管理の概念と基本構造、国民保護法制の概要・ケーススタディ、災害発生に備えた事前対策の重要性など、各分野の講義を実施し、危機管理担当者の業務に必要な知識及び能力の修得を図りました。能登半島地震での実務経験を踏まえた講義では、限られた時間と資源、乏しい情報の中で判断を迫られた実情が共有されました。対応すべきか否かの決断を下さなければならない場面もあったことが語られ、当時の過酷な状況が伝えられました。

本コースでは新たなカリキュラムとして国民保護図上訓練を取り入れました。弾道ミサイルの着弾を想定し、プレイヤー班とコントローラー班に分かれシミュレーションを実施、災害対策本部の動きをイメージし、実演後は各グループでの振り返りと講師からの講評を受けました。

課題討議では、地方行政における危機管理について、国民保護関係または自然災害等のテーマについて、各班で討議しその討議結果を発表しました。内閣府、消防庁及び危機管理行政のアドバイザーから講評をいただき、各自治体が直面している問題点・課題、課題解決に向けての対策・取組みなど、活発な意見交換が行われました。

研修を終えた学生からは、「全国各地の自治体がそれぞれ課題を抱えていることを知りました。それらを自分の所属に置き換えて考えると、これまで議題にも挙がらなかった問題が、実は核心をつくものであると気づき、大きな発見となりました。」「図上訓練では災害対策本

部の動きをイメージすることができ、所属に戻ってから危機管理部門の訓練としてぜひ取り入れたいと思いました。」「全国から集まった消防、警察、自衛隊、自治体という様々な立場の方々と寝食を共にし、様々な経験を聞き、考えに触れたことが私にとってのかけがえのない財産となりました。」等の所感が寄せられました。

今後は、消防大学校で得た学びや気づき、そして共同生活を通じて築かれた顔の見える関係を活かし、各自治体の課題解決や事業推進を担う先駆者としての活躍が期待されます。



課題討議



国民保護図上訓練



全体写真

問合せ先

消防大学校教務部
TEL:0422-46-1712

令和8年度 講師派遣について

消防大学校では、都道府県の消防学校等における教育訓練の充実のため、技術的援助として、消防学校等からの要請に基づき、警防、予防、救急、救助等の消防行政・消防技術について講師の派遣を行っています。

令和8年度も多くの派遣要望が寄せられたところ、これに積極的に対応することとし、下表のとおり、45校131件（499時間）の講師派遣を決定しました。

なお、消防学校等での女性活躍推進のための取組（女性活躍推進に係る講義の実施や女性消防吏員のキャリアアップに関する先駆的な教育訓練に取り組みたい場合

等）を行うため、消防大学校の教官等の派遣を必要とされる場合は、追加で講師を派遣します。消防大学校教務部までご相談ください。

また、各消防学校に消防大学校の修了者リストを提供していますので、修了者を講師等として招聘することもご検討いただくなど、積極的に連携いただくようお願いいたします。

今後とも、消防を取り巻く環境変化を踏まえながら、広い視野や専門的・高度な知識・技術を持ち、指導力・統率力に優れた人材の育成に取り組んでいきます。

●講師派遣の予定

区 分		講 義 内 容	件数	時間数
総合教育	上級幹部科	危機管理、業務管理、管理職の役割、ハラスメント防止対策など	6	20
	中級幹部科	人事業務管理、現場指揮、消防時事、消防戦術と安全管理など	14	53
専科教育	警 防 科	消防戦術と安全管理、警防行政の現状と課題など	21	81
	救 助 科	災害救助対策、安全管理など	11	44
	救 急 科	救急業務の現状と課題、救急業務と法律関係など	3	10
	予防査察科	違反処理、予防査察行政の現状と課題、予防査察など	21	86
	危険物科	危険物行政の現状と課題、危険物施設に対する査察・違反処理など	5	20
	火災調査科	原因調査、事例研究、原因調査関係法規、鑑定・鑑識など	24	92
	特殊災害科	特殊災害の概論、特殊災害に対する消防活動要領など	11	41
その他	現場指揮、防火対策、安全管理など	15	52	
計			131	499

問合せ先

消防大学校調査研究部
TEL:0422-46-1713